

平和憲法はなぜ大切か —石田憲『敗戦から憲法へ』を手掛かりにして(2)—

話題提供: 石田 憲 (千葉大学 法政経学部教授)

日本、ドイツ、イタリアの三国において、戦前の体制を克服すべく形成された三つの憲法。比較国際政治史の観点で見れば、敗戦と同時に始まった三国の制憲過程には戦前の体制(超国家主義・ナチズム・ファシズム)からの断絶性と連続性という二つの共通項があります。

しかしそれぞれの制憲過程を経て生み出されたのは、異なる根幹理念(日「平和主義」・独「基本権」・伊「社会権」)を掲げた憲法でした。なぜこれらの理念は生まれたのか、日独伊で異なる理念が生み出されたのはなぜか。敗戦当時に立ち戻り、政治史や国際政治の観点から、比較の視点で読み解くと、「平和憲法」と呼ばれる日本の憲法の特徴がより際立って見えてきます。

今回は著者で政治学者の石田憲先生をお招きします。憲法改正の議論の聲が高まる今だからこそ、平和憲法のもつ意味を改めて考えてみませんか？(全3回の2回目)

次回、最終回では、本書及びそれまでの議論を手掛かりに、フリートークを行います。

「カフェ」でめざすこと: 「カフェ」では自由に話さず聞くことができます。かつてカフェは市民が、平等な立場で、討論をすることによって、世論をつくり出してゆく場所という役割を果たしていました。わたしたちも、参加者が立場や肩書を越えて遠慮なく話せる場所、深く対話できる場所を提供したいと思います。(進行:山田)

2016年12月17日(土)

◆場所

新宿区環境学習情報センター(2階)

10:10~12:40 (予定)

[資料代] 200円

[申込み] 不要 / 直接会場へお越しください

◆交通のご案内: ★新宿駅西口 徒歩15分

★バス新宿駅西口ターミナル17番乗り場

■京王バス 宿32・宿33「十二社(じゅうにそ)池の下」下車 徒歩1分

★大江戸線「都庁前」駅A5番より徒歩5分

★丸の内線「西新宿」駅2番より徒歩10分

◆住所: 東京都新宿区西新宿2-11-4 新宿中央公園 エコギャラリー新宿内

◆お問い合わせ: takasas@ja.main.jp (高木学校事務局) ◎出前講座のご希望があれば承ります。



主催 高木学校 (カフェ企画会)